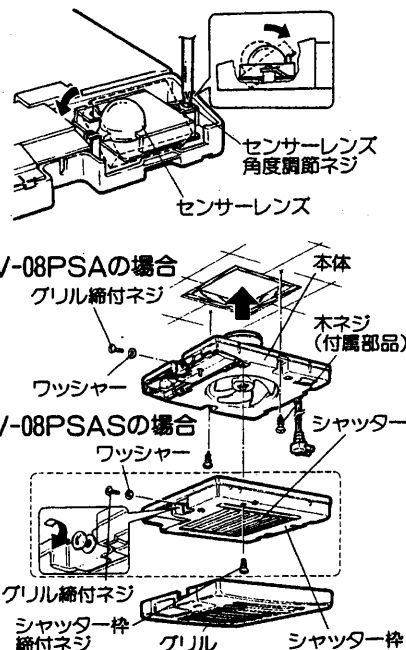


## 4. 取付方法 つづき

2

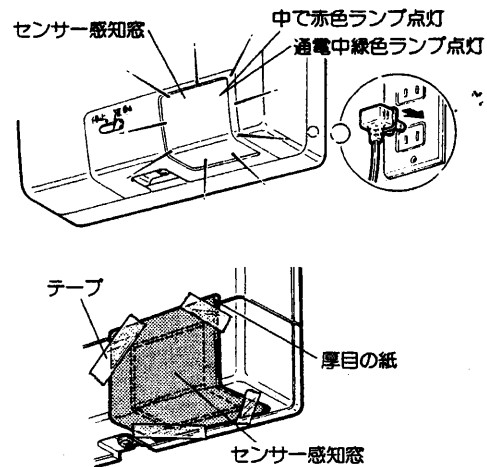


本体を取付けます。

1. グリル縮付ネジをゆるめ、グリルを本体から外します。
2. V-08PSASの場合は、シャッター枠縮付ネジを外し、シャッター枠を本体から外します。
3. センサーが人を感じやすい向きを調整します。センサーレンズが水平になるようセンサーレンズ角度調節ネジをゆるめて方向を変え再度固定します。
4. センサーを人に近い方向にして本体をパイプに差込み付属の木ネジ(2本)で天井面(野縁)に固定します。
5. シャッター枠の方向を間違えないよう本体にはめ込み、シャッター枠縮付ネジにて固定します。
6. グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込み、ワッシャーをグリルの外側に当ててグリル縮付ネジを締付け固定します。
7. 以上の工事が終わりましたら本体とシャッター枠とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

## 5. 試運転

取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。



1. 運転スイッチを「停止」の位置で電源プラグを専用コンセント(单相100V)に差込みます。通電ランプ(緑色)が点灯していることを確認してください。
2. 電源プラグを差込んだ後すぐに、運転スイッチを「運転」にしますと約2分間強制運転を開始します。その後センサー(自動)運転に切りかわりますのでセンサーが人を感じやすい手などを動かしますと約3秒後に換気扇が回り、運転ランプ(赤色)が点灯します。  
[強制運転はプラグ差込後の1回だけです。その後運転スイッチを操作しても強制運転しません。]
3. その後厚目の紙を用意して図のようにセンサー感知窓をテープなどで止めてふさぎますと約11分間(±30%)運転した後停止します。運転ランプ(赤色)が消灯します。
4. 紙を外してセンサーが人を感じると、再び運転が開始されます。

# MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン(トイレ・洗面所用)

形名 V-08PSA (人感センサー付)

V-08PSAS (人感センサー・電気式シャッター付)

## 取付説明書

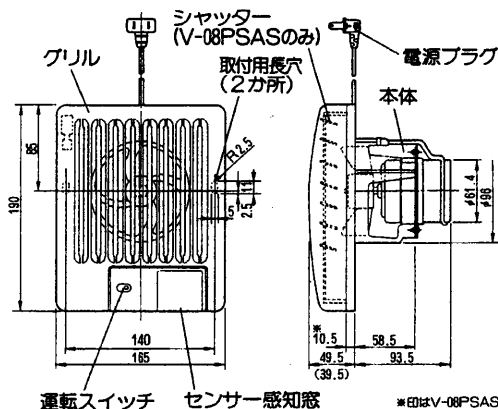
販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ず、この取付説明書をお読みください。  
取付工事はお買い求めの販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■接続パイプは市販品の塩化ビニール管(4番管、呼び径φ100)・鋼板管(内径φ100)のいずれかをご用意ください。

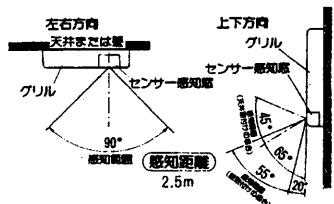
## 1. 各部の名称と外形寸法図



### 仕様

形名	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	質量(kg)			
V-08PSA	3.2	3.3	60	70	27.0	29.5	0.85
V-08PSAS	5.7	5.8	60	70	27.0	29.5	1.0

### 感知範囲



\*印はV-08PSASのみ。  
( )寸法はV-08PSAを示す。

## 2. システム部材

形名など詳細についてはカタログを参照してください。

- 防火ダンパー、丸形フード(アルミ製、ステンレス製、防火ダンパー付)
- 深形フード(プラスチック製、アルミ製、ステンレス製)
- ベントキャップ(プラスチック製、アルミ製、ステンレス製)
- パイプスリーブ、耐外風高性能フード(防火ダンパー付)

三菱電機株式会社

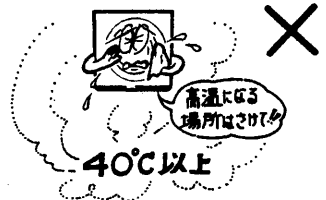
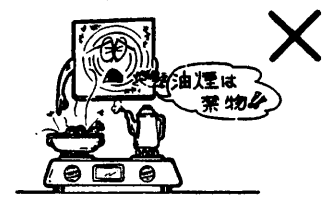


〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9205CⒸR  
588H60774

# 3. 必ずお守りください

この製品はトイレ・洗面所の壁面または天井面に取付けます。

## 取付場所が悪いと事故や故障の原因になります。

- 1**  **高温や直接炎が当たる場所**に取付け  
ないでください。  
(製品の故障の原因になります。)
- 2**  **台所など油煙の多い場所**に取付け  
ないでください。  
(グリル・シャッター・羽根などの破損の原因になります。)
- 3**  **浴室など湿気の多いところ**には取付  
けないでください。  
(感電や故障の原因になります。)
- 4**  **間仕切など障害物のあるところ**には  
取付けないでください。  
(自動運転ができません。)

- 5** ■密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき、新鮮な空気の入る場所が必要です。空気取入口を設けてください。

■センサー感知窓に直射日光・車のヘッドライトなどが当たる場所には取付けないでください。誤動作の原因になります。

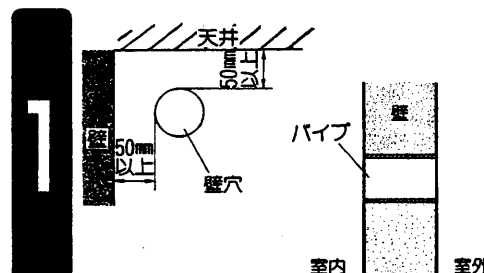
■風雨が強く下側から吹き上げがある場合は、システム部材の耐外風高性能フードを取付けてください。

# 4. 取付方法

※図はV-08PSASを示します。

この製品は壁に取付ける方法と天井に取付ける方法とがあります。

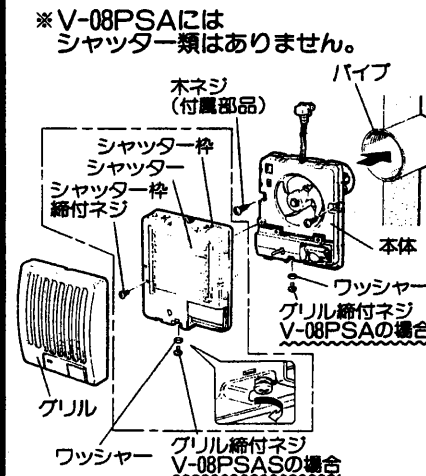
**壁取付けの場合** ……床より1.8m以上離れた場所に取付けてください。



壁穴にパイプを確実に差込み固定します。

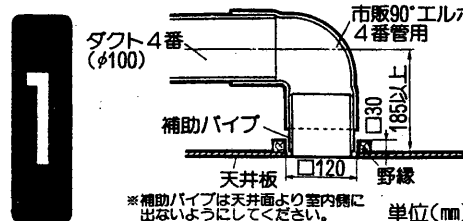
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- パイプは室内外壁面より出ないように差込みます。

**2** **本体を取付けます。**



1. グリル締付ネジをゆるめ、グリルを本体から外します。
2. V-08PSASの場合は、シャッター枠締付ネジを外し、シャッター枠を本体から外します。
3. 本体の上下を確認してパイプに差込み付属の木ネジ2本で本体を壁に固定します。
4. シャッター枠を本体に取付けます。  
●シャッター枠の方向を間違えないよう本体にはめ込み、シャッター枠締付ネジにて固定します。
5. グリルを本体に取付けます。  
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込み、ワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締付け固定します。
6. 以上の工事が終わりましたら本体とシャッター枠とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

**天井取付けの場合** ……グリルの締付けができるよう壁との間に空間を確保してください。



**野縁工事をし、パイプ配管をします。**

- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離してください。
- エルボと天井板の間は補助パイプを接続してください。